

『CGLNEWS II』は、第2期ロジスティクス環境会議メンバーの方々を対象として、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信して参ります。

<目次>

1. NO_x、PMの総量削減に関する基本方針変更
2. 世界最高水準の省資源社会の実現に向けて
基本政策ワーキンググループ報告書 公表
3. JILS会員研究会「グリーンロジスティクスのすすめ」開催案内

★

NO_x、PMの総量削減に関する基本方針変更(環境省)

★

昨年5月に公布された改正自動車NO_xPM法に基づき、「自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質の総量の削減に関する基本方針(以下「基本方針」という。)の変更が閣議決定されました。

また、昨年11月10日(土)から12月9日(日)までの間に実施された意見募集(パブリックコメント)の実施結果についても掲載されております。

1. 基本方針の変更の概要

(1)流入車の排出基準の適合車への転換の促進

・車種規制の対象外である対策地域外から対策地域内への流入車について、適合車であることを外形的にわかりやすく表示するよう、自動車の使用者に対する啓発活動を行うこと。

(2)エコドライブの普及促進

・エコドライブ支援装置の普及促進等を行うこと。

(3)局地汚染対策の推進

・建物の設置者に対し、荷さばき場や駐停車場所等の整備等の措置を建物の用途等にに応じて講ずるほか、当該建物の利用者へのアイドリングストップや公共交通機関の利用の呼びかけ等の措置を講じるよう、自動車排出窒素酸化物等の排出抑制の配慮を促すこと。他

(4)重点対策地区の指定に関する基本的事項

・対策地域内で、長期にわたり二酸化窒素又は浮遊粒子状物質に係る大気環境基準が達成されていない地区又はこれに準じる地区を指定すること。

(5)地球温暖化対策との連携

・自動車排出ガス対策については、それらの施策が地球温暖化対策にも資するものであるという視点を持ち、推進すること。

(6)事業者の判断基準となるべき基本的事項

・自動車を使用する事業者は、特に、重点対策地区内において自動車を運行する場合にあつては、重点対策地区に関して積極的に自動車排出窒素酸化物等の排出の抑制を図る措置を講ずること。

・流入車を使用する事業者は、当該自動車を対策地域内において運行する場合には、

排出基準の適合車を優先的に配車すること。また、ステッカーの利用等により、排出基準の適合車を外形的に分かりやすく表示する取組を進めること。

・運送事業者に貨物の運送を行わせる事業者及び貨物の納入を受ける事業者は、ステッカーの確認による排出基準の適合車の使用の促進等による車両1台当たりの自動車排出窒素酸化物等の排出量の削減や、共同輸配送の促進、輸送頻度の削減等による車両走行量の削減等に取り組むこと。

・事業者は、事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の排出を抑制するための措置について、懇談会の設置、情報交換の実施等により、関係事業者の連携及び協議体制の構築を図ること。

詳細は、下記環境省ホームページをご参照下さい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9274>

★

世界最高水準の省資源社会の実現に向けて
—基本政策ワーキンググループ報告書— 公表

★

経済産業省 産業構造審議会 環境部会 廃棄物・リサイクル小委員会 基本政策ワーキンググループでは、今後の持続可能社会の構築に向けた新たな3R政策のビジョンについて検討し、先月、その結果を公表いたしました。

この報告書は、現行制度に対する評価とともに、今後の持続可能社会の構築に向けた新たな3R政策のビジョンについて検討し、とりまとめたものとなっております。

新たな検討の方向性は下記のとおりです。

<製造段階>

個別の製造事業所ごとの取り組み(部分最適)から、企業間の連携強化による製品のライフサイクル全体での最適化・効率化の促進

<流通段階>

ライフサイクルでの総合的な評価が可能な「製品」に着目した消費者の3R意識の向上と事業者との連携の強化

<排出段階>

国際的な循環資源の取引の活発化と踏まえた、国内の取り組みの実行性の確保

<その他>

地球温暖化・省エネルギー対策と3R対策の一体化、効率的な取り組みの推進

詳細は、下記経済産業省ホームページをご参照ください

<http://www.meti.go.jp/press/20080110001/20080110001.html>

★

JILS会員研究会「グリーンロジスティクスのすすめ」開催案内

★

このたび、JILSでは、環境問題の現状やロジスティクスにおける環境負荷低減活動のヒントとなる情報提供を行うことで、具体的な活動に取り組んでいただける企業を1社でも増やすことを目的として、会員研究会を東京、大阪、名古屋、福岡の4拠点で開催いたします。

本研究会では、CGLで作成しました「グリーンロジスティクスガイド」や、活動概要の紹介等も予定しております。

皆様の御参加をお待ちしております。

<講師>

下村 博史氏

株式会社日本総合研究所 研究事業本部 上席主任研究員

(ロジスティクス環境会議 企画運営委員、グリーン物流研究会 幹事)

<日時及び会場>

【福岡】

2008年3月5日(水) 14時～15時

ホテルセントラーザ博多 (アクセス)<http://www.centraza.com/html/access/index.html>

【東京】

2008年3月12日(水)14時～15時

ホテル ルポール麹町 3Fマーブル (アクセス)http://www.leport.jp/map/acsses_g.html

【大阪】

2008年3月19日(水)14時～15時

大阪リバーサイドホテル 4F AB会議室 (アクセス)<http://www.osaka-riverside-hotel.co.jp/access.html>

【名古屋】

2008年3月25日(火)14時～15時

名古屋ダイヤビルディング2号館7F 第272会議室 (アクセス)

<http://www.nagoya-dbtec.co.jp/home/acsess/index.html>

<参加料>

JILS会員:無料

JILS会員外:10,500円(1名・消費税込)

<プログラム等の詳細>

下記URLをご参照ください。

(会員研究会パンフレットPDFファイル)

<http://www.logistics.or.jp/member/open/pdf/07green.pdf>

<申込方法>

上記パンフレットの申込書に必要事項をご記入の上、
各開催地に対応する事務局宛にFAXにてお申込ください。
(本メールを返信されても申込とはなりませんのでご注意ください。)

編集後記

さて、上記のとおり「グリーンロジスティクスガイド」の普及も兼ねた研究会を開催いたします。CGLのイベントは、ほぼすべて東京開催でしたが、今回は大阪、名古屋、福岡でも開催しますので、近隣に支店等ございましたら、本研究会についてご案内いただければ幸いです。

さて、現在、各委員会では、成果物の取りまとめでラストスパートに入っております。皆様にご協力をお願いするケースもあるかと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

*****CGLNEWS II 配信について*****

■本メールは第2期ロジスティクス環境会議

代表登録者・連絡窓口・研究会・委員会にご登録いただいている方に
配信しております。(メールの登録のある方のみ)

■発信元: 社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は: cgl@logistics.or.jp

※各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスをお願いいたします。

(C) CGL NEWS All Rights Reserved.
